

製品安全データシート

KOCIDE(R) 101

版 2.0

改訂日 2010/12/22

整理番号 130000000380

このMSDSは、日本の法規制、JISZ7250及び「日化協・製品安全データシートの作成指針」に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 製品及び会社情報

製品名 : KOCIDE(R) 101
 : (Cu 50%)

会社名 : デュポン株式会社
住所 : 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

担当部門 : 農業製品事業部 プロダクトスチュワードシップ

電話番号 : 03-5521-2473
FAX番号 : 03-5521-2470
緊急連絡先 : 03-5521-2461

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺菌剤

整理番号 : 130000000380

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 (経口)	区分4
急性毒性 (吸入)	区分3
発がん性	区分1A
眼に対する重大な損傷/刺激性	区分1
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1
水生環境急性有害性	区分1
水生環境慢性有害性	区分1

記載がないものは、分類できない、分類対象外または区分外。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 飲み込むと有害。

重篤な眼の損傷。
 吸入すると有毒。
 発がんのおそれ。
 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性。
 長期または反復暴露による臓器の障害。(肺, 呼吸器官)

注意書き

- : 使用前に取扱説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 取扱後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 直ちに医師に連絡すること。
- 特別な処置が必要である（このラベルの応急措置の指示を参照）。
- 口をすすぐこと。
- 漏出物を回収すること。
- 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
- 施錠して保管すること。
- 内容物/容器の廃棄は、地方自治体の規則に従って行うこと。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 一般名 : KOCIDE(R) 101
 別名 : B10824680

成分及び含有量

化学名	CAS番号	含有量	官報公示整理番号（化審法・安衛法）
水酸化第二銅	20427-59-2	76.8 %	(1)-293
石英（結晶）	14808-60-7	0.5 %	(1)-548
不活性成分		22.7 %	

4. 応急措置

一般的アドバイス

中毒情報センターまたは医師に問い合わせるときや治療に行くときは、製品の容器またはラベルを持っていくこと。

目に入った場合

- : 目を開け水で 15-20 分間ゆっくり穏やかに洗う。コンタクトレンズを着用している場合は5分後に外し、その後も洗浄を続けること。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。

- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服を脱がせる。皮膚を直ちに多量の水で15-20分間洗う。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移す。症状が続く場合には、医療機関で診察を受ける。人工呼吸あるいは酸素吸入、場合によってはその両方が必要になることがある。中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。
- 飲み込んだ場合 : 中毒情報センターまたは医師に問合せ、治療のアドバイスを得る。飲み込むことが可能ならコップ一杯の水を飲ませる。中毒情報センターまたは医師からの指示を受けないでおう吐を誘引しない。意識のない人には、絶対に、口から何も与えてはいけない。
- 最も重要な徴候及び症状 : 情報なし
- 応急措置をする者の保護 : 情報なし
- 医師に対する特別な注意事項 : 粘膜損傷の恐れがあると胃洗浄ができないことがある。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水スプレー、粉末消火剤、泡、二酸化炭素 (CO2)
- 使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水、(汚染のおそれ)
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 特定の消火方法 : 消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。汚染した消火用水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物や汚染した消火用水は、関係法規に従って処理する。流出を制御する(小火災に)火災が広範囲である場合は、消火水がエリアの汚染を助長させてしまうので、可能であれば燃やし尽くす。水を噴霧して容器/タンクを冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 火災の場合は、自給式呼吸装置を着用する。保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 清掃を始める前に、安全データシートのセクション5および7を見直す。保護具を使用する。
- 環境に対する注意事項 : 物質が、下水、水路または低地域へ流入することを防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 掃いてからシャベルを使って適切な容器に入れ、処分する。
- 二次災害の防止策 : 現地の規定に従い、処分する。使用方法は、製品のラベルを参照する。

版 2.0

改訂日 2010/12/22

整理番号 130000000380

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。
- 局所排気・全体換気 : 情報なし
- 注意事項 : 情報なし
- 安全取扱い注意事項 : 粉塵の発生を避ける。熱及び着火源から遠ざけること。

保管

- 適切な保管条件 : 保存している水、他の農薬、肥料、食料品または飼料を汚染しない。涼しくて乾燥した場所に保存する。ラベルの予防措置を遵守する。製品は子供やペットが近づけない場所に、元の容器のみに保存する。

保管温度: < 35 °C

- 安全な容器包装材料 : 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 適切な換気装置のみを使用する。

管理濃度 - 許容濃度

化学名	許容濃度	法令基準等

保護具

- 呼吸器の保護具 : 適切な許容限界を超えた濃度で、空気中の浮遊物質に暴露される可能性がある場所では、承認されたダストおよびミスト用カートリッジ付呼吸保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 材質: 保護手袋
- 目の保護具 : この物質との接触を避けるため保護用眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 手袋、前掛け、長靴、カバーオールなどの保護衣を必要に応じて着用すること。
- 適切な衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取扱後および飲食、ガム、タバコの使用前、またはトイレ使用前には、石鹼と水でよく手を洗う。使用後は、全ての保護服を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

外観（物理的状态、形状、色など）

物質の状態	: 固体
形状	: 水和性粉末
色	: 薄い青色
臭い	: 無臭
臭いの閾値	: データなし
pH	: 7.5 (10 grm/l)

融点／凝固点

データなし

沸点、初留点と沸騰範囲

データなし

引火点	: 適用なし
自然発火温度	: データなし
蒸発速度	: データなし

爆発特性

爆発上限	: データなし
爆発下限	: データなし

蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: データなし
密度	: データなし

溶解性

水溶性	: 分散する
溶媒に対する溶解性	: データなし
n-オクタノール／水分配係数	: データなし

版 2.0

改訂日 2010/12/22

整理番号 130000000380

分解温度 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の状態では安定。

危険有害反応の可能性 : 情報なし

避けるべき条件 : 情報なし

混触危険物質 : 合理的に予想できるものは、なにもない。

危険有害な分解生成物 : 銅酸化物

その他 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性 : KOCIDE(R) 101:
経口: LD50/ラット : 833 mg/kg
吸入: LC50/4 h/ラット : > 0.51 - 1.02 mg/l
経皮: LD50/ウサギ : > 5,000 mg/kg

皮膚腐食性 / 刺激性 : KOCIDE(R) 101:
種: ウサギ
結果: 皮膚への刺激なし。

眼に対する重大な損傷 / 刺激性 : KOCIDE(R) 101:
種: ウサギ
結果: 腐食性

呼吸器感作性 / 皮膚感作性 : KOCIDE(R) 101:
種: ギニアピッグ
結果: 動物実験では感作性なし。

変異原性 : 水酸化第二銅:

この物質は培養したバクテリア細胞の遺伝子を損傷しないことを示唆する証拠がある。この物質は動物の遺伝子を損傷しないことを示唆する証拠がある。

石英（結晶）：

バクテリア培養細胞では、遺伝子の損傷は起きなかった。動物では遺伝子は損傷されなかった。哺乳類の培養細胞の試験では、遺伝子損傷が観察された試験結果もあり、観察されなかった試験結果もある。

発がん性

： 水酸化第二銅:

動物実験では、発ガン性の影響は見られなかった。
本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

石英（結晶）：

IARC グループ 1

実験動物では、腫瘍発生率の増加が観察された。作業場における研究は、ヒトの癌発生の危険性の増加を示している。

生殖毒性

： 水酸化第二銅:

動物実験では、繁殖への影響は見られなかった。

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。母体に有毒となるレベル以上のレベルにおいて、胚-胎児の発生への影響が、動物試験により示された。

石英（結晶）：

有害な影響は予想されない。

標的臓器

： 該当する場合、特定標的臓器に関する情報は、急性毒性及び/又は反復投与毒性データを参照すること。

吸引性呼吸器有害性

： データなし

その他

： 水酸化第二銅:

以下の影響は、表示された使用条件下で予想されたものを著しく超える暴露レベルにおいて起こった。

反復投与毒性: 経口, ラット

肝臓への影響, 腎臓への影響, 小球性貧血

本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。

石英（結晶）：

反復投与毒性: 吸入

肺の液体貯留（肺水腫）、肺への影響、炎症、肺の慢性疾患、線維症

1 2. 環境影響情報

版 2.0

改訂日 2010/12/22

整理番号 130000000380

生態毒性

魚毒性

: KOCIDE(R) 101:

LC50/96 h/Oncorhynchus mykiss (ニジマス): 0.064 mg/l

その他

: 水酸化第二銅:

ErC50/72 h/Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻): 0.00939 mg/l

EC50/48 h/Daphnia magna (オオミジンコ): 0.0422 mg/l

無影響濃度/21 d: 0.03 mg/l

残留性/分解性

: データなし

生体蓄積性

: データなし

土壌中の移動性

: データなし

他の有害影響

: KOCIDE(R) 101:

環境の予防措置に関する、取り扱いの追加説明は製品ラベルを参照する。

13. 廃棄上の注意

廃棄の適用法令

: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託する。

残余廃棄物

: 国及び地方自治体による規制に従う。この製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。

汚染容器・包装

: 空き容器を廃棄処理する場合は、内容物を完全に除去し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(施行令第6条)に従って廃棄する。空の容器を再使用しない。

版 2.0

改訂日 2010/12/22

整理番号 130000000380

1 4. 輸送上の注意

国際規制

IMDG

国連番号	:	3077
品名 (Proper shipping name)	:	Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s. (Copper hydroxide)
クラス	:	9
包装等級 (PG)	:	III
海洋汚染物質	:	該当 (Copper hydroxide)
国連分類	:	9
国連番号	:	3077 (Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.)
国内規制	:	船舶安全法 航空法
追加の規制	:	情報なし
輸送の特定の安全対策及び 条件	:	IATAの危険有害物質として規制されない。 IATA特別規定A 9 7により、分類されることがある。
応急措置指針番号	:	171

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質:水酸化第二銅(379), 石英 (結晶) (312)
船舶安全法	毒物類
航空法	毒物

農薬取締法: 殺菌剤

1 6. その他の情報

引用文献	:	US MSDS No.: M0000657
記載内容の問い合わせ先	:	財団法人 日本中毒情報センター 大阪中毒110番: (一般向け) 072-727-2499, (医療機関専用有料電話) 072-726-9923 つくば中毒110番: (一 般向け) 029-852-9999, (医療機関専用有料電話) 029-851-9999
その他	:	(R) はイー・アイ・デュポン・ドウ・ヌムール・アンド・カンパニーの登 録商標です。 ラベルに記載された使用方法に注意する。

以前のバージョンから大きな変更のあった個所には二重線を付した。

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の取り扱い、使用、処 理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等を、安全に行っていただくために作成されたもの です。上記の情報はいかなる保証をするものでもありませんし、品質を特定するものでもありません。また、このMSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、別な物質へ変化させたり、処理したり、あるいは指定されていない工程での使用や、指定 されていない材料との組み合わせには有効ではありません。